

平成19年度

施政方針

「変革の時代を迎えて」

―町を取り巻く状況―

平成14年から続く景気拡大局面は、高度経済成長期の「いざなぎ景気」を抜き、戦後最長と伝えられております。金融機関や大企業を中心に、バブル崩壊後の経営の建て直しが図られた感があります。

しかしながら、多くの人々の所得は増えず、国や地方自治体の借金が増え続ける中で、私たちの身近な地域経済は、元氣とはいいがたい状況にあります。

国の平成19年度予算は、「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2006」に基づき、歳出・歳入一体改革に向けた出発点となる重要な予算と位置付けられております。

これまでの財政健全化の努力を継続し、平成19年度も交付税制度のさらなる見直しを進め、普通交付税の不交付団体を増加させるとしております。また所得税から地方税への税源移譲が実施されます。

こうした状況から、地方自治体の経営は、重大な局面を迎えると言っても過言ではありません。

「広報みずほ」1月号の年頭のあいさつでも申し述べましたが、これからの時代は、町民自らが町の政策を選択実施し、その結果責任も負う、地方政府への転換を図らなければなりません。地域で出来ることは地域で行い、また、町だけで対処できないことは、広域行政や東京都全体で連携して、これにあたる体制を確立しなければなりません。

瑞穂町の実力が試される時代が到来しております。

『長期総合計画の推進』

平成19年度は、これらの時代の要請に応えつつ、基本構想の将来都市像「人と自然が織りなすまち みずほ―快適な生活環境をめざして―」の実現に向けて、各種施策に全力で取り組む所存であります。

平成19年第1回瑞穂町議会定例会で、石塚町長から19年度の施政方針が発表されました。そのあらましをお知らせします。

環境と共生するまちづくり

循環型社会システムを形成し、健康で安全かつ快適に暮らすことができる良好な環境を確保し、将来の世代に引き継ぐために、環境基本計画を策定いたします。

また、家庭ごみの一部有料化・戸別収集導入から約2年半が経過し、ごみの減量と再資源化が進んでおりますが、さらなる資源の有効活用に向け、本年4月から、西多摩衛生組合構成市町において、ごみ分別方法の統一化を実施いたします。引き続き町民の皆様のご理解とご協力をいただき、循環型社会の実現に向けた取り組みを推進してまいります。

加えて、本年は容器包装プラスチックの圧縮梱包処理施設の建設に着手し、再資源化への取り組みを強化してまいります。

緑の保全では、保存樹林地の指定を積極的に進めるとともに、その維持管理等について、町民参加の仕組みづくりを進めてまいります。

都市基盤づくりでは、箱根ヶ崎駅西土地区画整理事業をはじめ、都市計画道路福3・4・26号瑞穂飯能線および

福3・5・24号御伊勢山通り線の整備事業を進めてまいります。

また、殿ヶ谷土地区画整理事業の推進を支援し、栗原地区土地区画整理事業では、準備会が行う基本調査を支援してまいります。

地域生活に欠くことのできない生活道路の整備・改修につきましては、昨年に引き続き重点配分を行い、積極的に推進してまいります。

下水道事業では、元狭山地区の雨水対策を実施するため、雨水調整池の建設を具体化いたします。また、市街化調整区域における下水道整備を計画的に推進してまいります。

公共交通整備では、八高線につきましては、議会と共に要望活動に努めております。おかげさまで、平成17年の増発に続き、本年3月のダイヤ改正で1便が増発されました。平成19年度は、東京都の箱根ヶ崎駅東口広場の整備計画と箱根ヶ崎駅西土地区画整理事業の進捗よくに合わせ、駅前広場における利便性の向上やバス路線拡充の取り組みを進めてまいります。

防災では、平成19年度の防災訓練を都および近隣市と合同で実施し、広域的な訓練と自主防災組織による地域訓練との連携を図ってまいります。また第5分団の車庫等について、工事に着手いたします。

活力ある生活を支えるまちづくり

昨年、2カ所目となる元狭山コミュニティセンターを開設いたしました。今後の地域コミュニティの活性化に向け、コミュニティ振興計画の策定に着手いたします。

長岡地域施設につきましては、防衛施設周辺整備統合事業に対する地域住民の理解の促進に努め、整備事業の着手を目指してまいります。

また、箱根ヶ崎北会館では、空調機器の取り替えと高齢者や障がいのある人にも使いやすい施設となるよう、改修工事を実施いたします。

スポーツ・レクリエーションでは、地域体育館構想を含むスポーツ振興計画の策定に着手いたします。

安全・安心まちづくりの推進では、安全・安心まちづくり協議会を中心に、自主防犯組織の拡充を図り、地域の方々と協働して、さらに安全なまちづくりを進めてまいります。

町の活力増進に欠かせない商業振興対策では、瑞穂町商店街振興プランに位置づけた各施策の具体化を図ってまいります。

農業では、体験農園を開設いたしました。さらに農家に体験農園の開設を働き掛け、都市型農業の経営のあり方を探ってまいります。また、農業を基軸とした観光ルートの創設や観光看

板の設置に加え、観光農業用駐車場の整備など、観光と農業の融合を推進してまいります。

自らを高め 互いを認め合う まちづくり

児童福祉事業では、子ども家庭支援センター事業を核として、総合的に子育てを支援してまいります。

また、認可外保育所の利用者に対する補助事業を引き続き実施し、待機児対策に努めてまいります。

高齢者福祉事業では、定期的な高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の見直しのため、実態調査を実施いたします。高齢者の保健・福祉・医療の向上と増進のために必要な援助、支援を担う包括支援センターについては、地域ケアシステムの拠点としての機能の維持を前提として、民間委託を検討してまいります。

また、団塊の世代が退職期を迎えることから、地域活性化の人材として活躍していただくため、シルバー人材センターおよび社会福祉協議会の事業と連携し、高齢者の就業機会の拡大と地域コミュニティの担い手として、活動の場の提供に努めてまいります。

学校教育関係では、耐震診断の結果に基づき瑞穂中学校については、耐震補強工事を実施し、第一小学校、第四

小学校については、耐震補強工事の設計を行い、順次耐震補強を実施いたします。

また、第五小学校トイレ環境整備工事を実施いたします。これで全ての小・中学校の改修工事が完了することとなります。今後も計画的に教育環境の向上を目指してまいります。

平成19年度において、指導主事および臨床心理士を配置するとともに、瑞穂中学校に情緒障がい通級指導学級を設置いたします。

青少年健全育成では、子ども体験塾事業として、昨年に続き小笠原村への派遣事業と、新たに機織り体験事業を実施いたします。

国際化施策では、昨年姉妹都市となりましたモーガンヒル市より親善のための来訪が予定されており、本年は歓迎行事を実施いたします。また、相互に事業提案をするなど、今後の姉妹都市交流のあり方を検討してまいります。



▲姉妹都市提携締結式(平成18年7月3日)でケネディ市長(当時)と固い握手

計画の推進

行政需要の変化や新たな行政課題に対し、柔軟に対応するため、各事業の目標や成果を検証し、事業の見直しを図る行政評価システムをさらに推進するとともに、第三次行政改革大綱に基づき行政改革の推進に努めてまいります。

また、事業の推進にあたり、限られた財源を重点事業へ優先的に配分することを心掛け、経費節減を徹底することとはもちろんですが、歳入面におきましても、公平・的確な課税および収納率の向上など自主財源の確保に努めるとともに、国・都支出金などの特定財源の確保に努力してまいります。

全職員が、常に町民福祉のさらなる向上と、効率的かつ効果的な事業展開を念頭に置き、鋭意努力していく所存でありますので、議員各位をはじめ、町民の皆様の絶大なるご支援をお願い申し上げます。

問合せ 企画財政課

☎557-7468

一般会計

118億2,320万円

前年比 7,100万円 (0.6%) の増

一般会計の歳入と歳出の内訳は、円グラフのとおりです。
※ () 内の数字は構成比

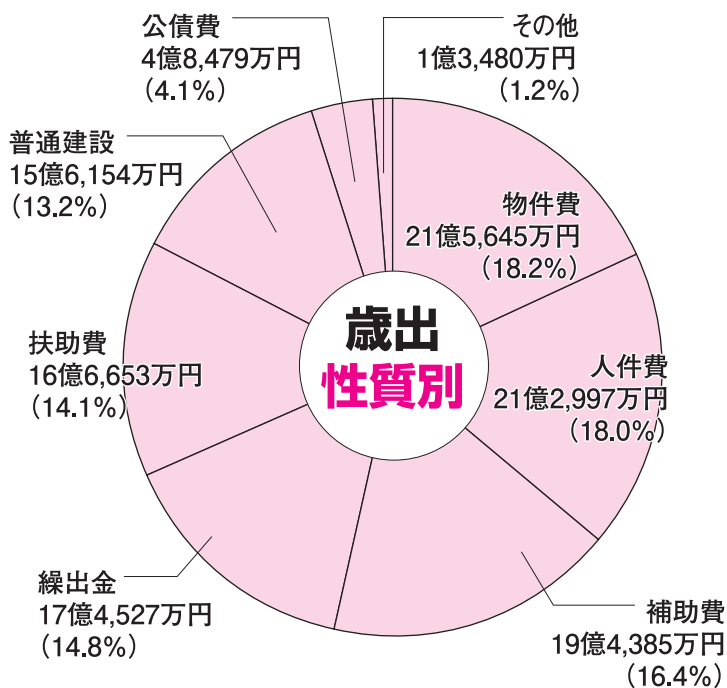
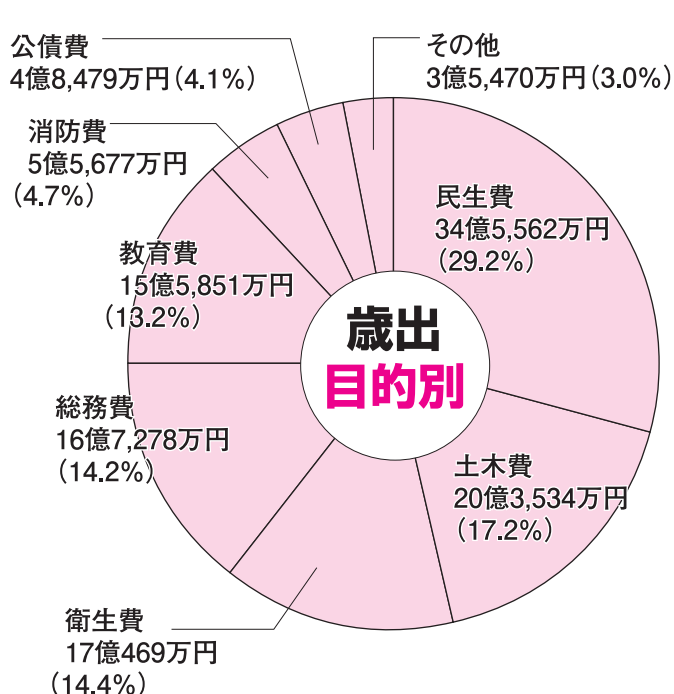
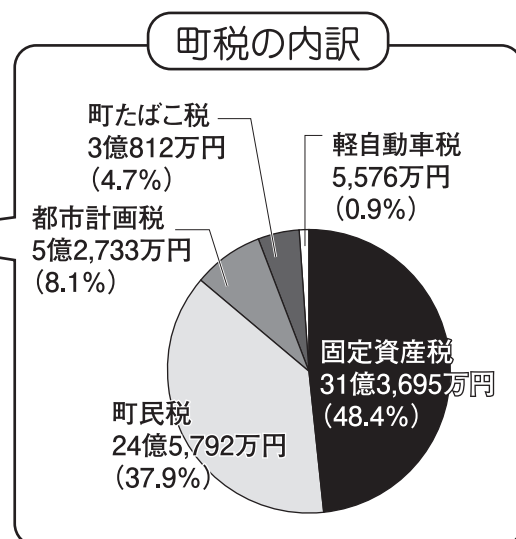
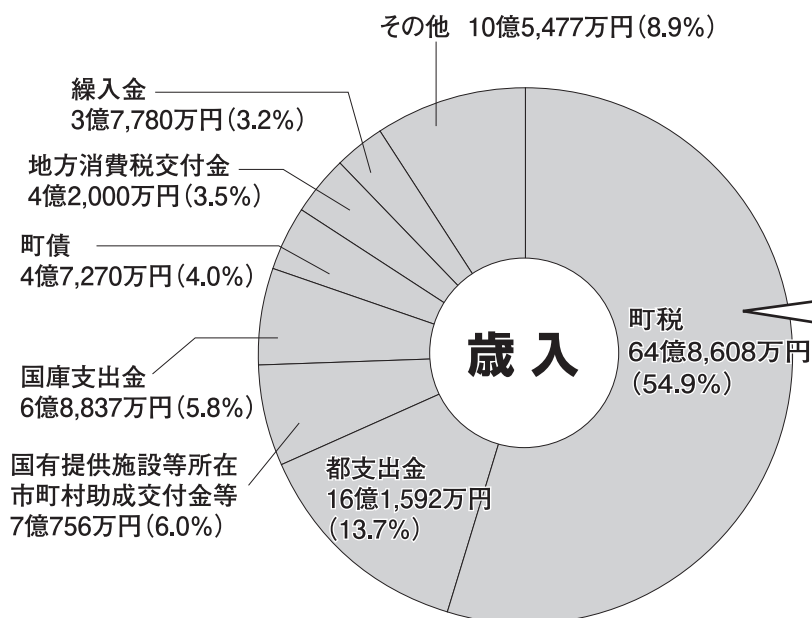


平成19年度

まちの 予算

問合せ 企画財政課

TEL 557-7483



～総額について～

特別会計を含めた総額は、199億526万円となり、前年度より2.2%の増額となりました。

主な増額要因は、国民健康保険特別会計の保険財政共同安定化事業拠出金と保険給付費の増額と介護保険特別会計の介護サービス給付費の増額です。

●平成19年度予算の会計別内訳と前年度との比較

会計名		平成 19 年度	平成 18 年度	比 較	伸び率
一般会計		118億2,320万円	117億5,220万円	7,100万円	0.6%
特別会計	国民健康保険	32億5,833万円	28億8,954万円	3億6,879万円	12.8%
	駅西土地区画整理事業	7億6,383万円	7億2,315万円	4,068万円	5.6%
	下水道事業	11億5,954万円	11億9,855万円	△3,901万円	△3.3%
	老人保健医療	15億3,077万円	16億1,374万円	△8,297万円	△5.1%
	介護保険	13億2,990万円	12億7,458万円	5,532万円	4.3%
	殿ヶ谷財産区	483万円	471万円	12万円	2.5%
	石畑財産区	2,701万円	1,189万円	1,512万円	127.2%
	箱根ヶ崎財産区	742万円	607万円	135万円	22.2%
	長岡財産区	43万円	43万円	0万円	0.0%
	小計	80億8,206万円	77億2,266万円	3億5,940万円	4.7%
合 計		199億 526万円	194億7,486万円	4億3,040万円	2.2%

予算の使い道 平成19年度の主な事業

～施政方針に沿って各事業を展開していきます～

環境と共生するまちづくり

◆環境保全

- 環境基本計画策定業務委託…………… 609 万円

◆廃棄物の資源化とごみ減量化の促進

- リサイクルプラザ増設工事…………… 1 億 9,845 万円
- 地区別ごみ収集委託…………… 1 億 8,713 万円
- エコパーク管理業務委託…………… 1,102 万円

◆公園・緑地

- 狭山池公園トイレ等整備工事…………… 1,500 万円
- 公園遊具等設置工事…………… 1,301 万円
- 保存樹林地等奨励金…………… 283 万円

◆都市基盤づくり

- 駅西土地区画整理事業特別会計繰出金…………… 4 億 1,583 万円
- 栗原地区土地区画整理事業準備会助成金…………… 8,000 万円
- 都市計画道路 3・4・26 号線築造工事…………… 9,920 万円
- 都市計画道路 3・5・24 号線築造工事…………… 7,170 万円
- 町道改修及び舗装工事…………… 3 億 3,959 万円

◆防災

- 第5分団車庫等新築工事…………… 4,300 万円
- 消防団員費用弁償(町、西多摩、東京都で操法大会)…………… 1,191 万円

活力ある生活を支えるまちづくり

◆コミュニティ・スポーツの振興

- 狭山北地区学習等供用施設防音機能復旧工事…………… 4,011 万円
- 殿ヶ谷会館外壁塗装工事…………… 489 万円
- 四丁目グラウンドトイレ改修工事…………… 181 万円
- ふれあいまつり出演委託(元狭山コミセン)…………… 10 万円
- 町営第2庭球場補修工事…………… 1,688 万円
- スポーツ振興計画等策定委託…………… 449 万円

◆商業の振興

- 産業会館駐車場整備工事…………… 251 万円
- 新元気をかせ商店街事業補助金…………… 140 万円
- 中小企業振興資金融資利子補給金…………… 479 万円

◆農業の振興

- 魅力ある都市農業育成対策事業補助金…………… 1,800 万円
- (仮称)長岡地区駐車場及びトイレ設置工事…………… 2,647 万円
- 農業振興地域整備計画作成委託…………… 404 万円

自らを高め互いを認め合うまちづくり

◆福祉

- 保育園児童運営委託…………… 5 億 1,357 万円
- 認可外保育所利用者補助金…………… 2,279 万円
- 乳幼児ショートステイ事業委託…………… 153 万円
- 地域包括支援センター相談連絡所業務委託…………… 555 万円
- 高齢者保健福祉計画等策定に伴う実態調査委託…………… 208 万円

◆学校教育

- 瑞中耐震補強工事…………… 1 億 6,856 万円
- 第一小・四小耐震補強工事設計委託…………… 1,723 万円
- 第五小トイレ環境整備工事…………… 8,200 万円
- 高等学校等入学時奨学金…………… 180 万円

◆社会教育

- 多摩・島しょ子ども体験塾事業委託(小笠原派遣、機織体験)…………… 304 万円
- スカイホール主催事業公演委託…………… 1,800 万円
- 子ども議会参加者記念品…………… 1 万円
- 放課後子ども教室事業備品…………… 112 万円

◆国際化

- 姉妹都市交流事業…………… 369 万円